共立女子大学大学院　家政学研究科　建築・デザイン専攻　カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP 1 -1
客観性・自律性ー学識と倫理
知識基盤社会を支える人材として、広い視野に立ち、高い倫理観とともに、「空間」や「モノ」に関する高度な学識を身に付けている。

DP 1 -2
客観性・自律性ー主体的判断力
社会や環境の変化に対応するために、「空間」や「モノ」に関する高度な学識に基づき、主体的に思考し、自律的に行動することができる。

DP2-1
課題発見・解決力ー社会的役割
建築・デザインの果たす社会的役割を理解し、「空間」や「モノ」に関する学術的研究を通して、社会的・経済的価値を創出することができる。

DP2-2
課題発見・解決力ー課題解決力
建築・デザインに関する多様な課題を発見し、論理性や批判的思考に基づき、自ら課題解決に向けて仮説を構築し、検証することができる。

DP3
リーダーシップ
専門的な知識・技能の異なる他者と協働して課題に取り組み、計画的に行動することで、広く社会に貢献することができる。

カリキュラム・ポリシー

特別研究

CP3
専門分野の異なる複数の指導教員のもとで、建築領域またはデザイン領域における学術的な課題を設定し、調査分析に基づく資料作成・プレゼンテーション・ディスカッションにより研究を計画的に進め、その成果を修士論文にまとめる「建築・デザイン特別研究」を設置し、必修とする。「建築・デザイン特別研究」では「空間」や「モノ」に関する高度な知識とともに、グローバルな環境で活躍する高度な人材に必要とされるライティング・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を修得する。

建築・デザイン特別研究Ⅲ
建築・デザイン特別研究Ⅱ
建築・デザイン特別研究Ⅰ

専門教育科目

CP2
建築・デザインの専門的な知識・技能を修得し、社会的な課題解決に応用し、社会的・経済的な価値を創出する能力を養成するために、順次性のある体型的な専門科目を建築領域とデザイン領域に区分して編成する。

DP 1 -1
- 建築領域
  - 特論　建築形態論
  - 特論　建築空間計画
  - 特論　構造デザイン
  - 特論　環境デザイン
  - 特論　都市景観デザイン
  - 特論　住生活デザイン
  - 特論　住生活史
- デザイン領域
  - 特論　伝達デザイン
  - 特論　プロダクトデザイン
  - 特論　パブリックデザイン
  - 特論　マーケティング

DP 1 -2
- 建築領域
  - 建築設計Ⅰ
  - 建築設計Ⅱ
- デザイン領域
  - 伝達デザイン演習
  - プロダクトデザイン演習
  - パブリックデザイン演習

DP2-1
- 建築領域
  - 建築設計Ⅰ
  - 建築設計Ⅱ
- デザイン領域
  - 伝達デザイン演習
  - プロダクトデザイン演習
  - パブリックデザイン演習

DP2-2
- 建築領域
  - 建築設計Ⅰ
  - 建築設計Ⅱ
- デザイン領域
  - 伝達デザイン演習
  - プロダクトデザイン演習
  - パブリックデザイン演習

DP3
- 建築領域
  - インターンシップA
  - インターンシップB
  - インターンシップC
  - インターンシップD
  - 建築設計Ⅰ
  - 建築設計Ⅱ
- デザイン領域
  - 伝達デザイン演習
  - プロダクトデザイン演習
  - パブリックデザイン演習

共通科目

CP1
知識基盤社会を支える人材として必要とされる汎用的な能力を身につけ、専門領域を越えて学際的な家政学の広範な知識・技術を修得するために共通科目の「家政学総合研究」（２単位）を1年次に設定して必修とする。

家政学総合研究

DP1-1との関連性が高い科目	DP1-2との関連性が高い科目	DP2-1との関連性が高い科目	DP2-2との関連性が高い科目	DP3との関連性が高い科目

アドミッション・ポリシー

AP 1 -1
家政学研究科建築・デザイン専攻における教育研究の特徴を理解し、高い倫理観を身につける素養を有している。

AP 1 -2
家政学研究科建築・デザイン専攻における学びを主体的に追求し、自律的に行動しようとする意欲を有している。

AP2
家政学研究科建築・デザイン専攻に必要な知識や技能を有し、建築・デザインの果たす社会的役割や、「空間」や「モノ」に関する学術研究による社会的・経済的な価値や学術的・文化的な価値について思慮することができる。

AP3
学術的もしくは社会的な見地から「空間」や「モノ」に関する多様な課題を発見し、論理的に思考する能力を有している。

AP4
多様な価値観や意見を尊重し、専門的な知識・技能の異なる他者と協働して課題に取り組むことができる。

※各科目は「カリキュラム・マップ」でディプロマ・ポリシーとの対応関係が「◎」の科目を記述している。